

磯山レミコン(株)

御中

2025年01月度～2025年06月度

コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

品名

シーカ ビスコクリート SP 8 SV (旧)マスターグレーム SP8SV

種類

高性能AE減水剤 標準形 (I 種)

1. コンクリートの試験結果

	項 目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値
フレッシュコンクリート	減 水 率 %	18 以上	18 ✓	18 ✓
	ブリーディング量の比 %	60 以下	16 ✓	—
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^3	— 以下	—	—
	凝結時間の差分	始 発	+35 ✓	+20 ✓
		終 結	+25 ✓	-5 ✓
	経時変化量	スランプ cm	4.0 ✓	5.0 ✓
		空気量 %	-0.7 ✓	+0.2 ✓
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—
		材齢2日 (5℃)	— 以上	—
		材齢7日	155 ✓	147 ✓
		材齢28日	139 ✓	132 ✓
	長さ変化比 %	110 以下	96 ✓	—
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	97 ✓	—

注記1. 1m^3 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 3.15 kg/m^3 性能確認試験 3.15 kg/m^3

注記2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2024年11月 の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2024年05月 の試験結果である。

注記3. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月 に ホゾリス ソリューションズ(株)技術開発センター で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl⁻)量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1m^3 当たりの化学 混和剤の使用量	試 験 値
塩化物イオン(Cl ⁻)量	0.02 kg/m ³ 以下	0.00 kg/m ³	0.01✓%	3.15 kg/m ³	0.00✓kg/m ³
全 アル カ リ 量	0.30 kg/m ³ 以下	0.03 kg/m ³	1.2✓%	3.15 kg/m ³	0.04✓kg/m ³

注記1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2024年11月 の試験結果である。

注記2. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月 に ホゾリス ソリューションズ(株)技術開発センター で実施した試験結果である。

3. その他の項目

項 目	規 格 値	試 験 値
密 度 (g/cm ³ , 20℃)	1.03 ~ 1.12	1.05 ✓

注記. この表に表示している試験値は、2024年11月 の試験結果である。

注)セメント質量に対する化学混和剤使用量 GX0.90%